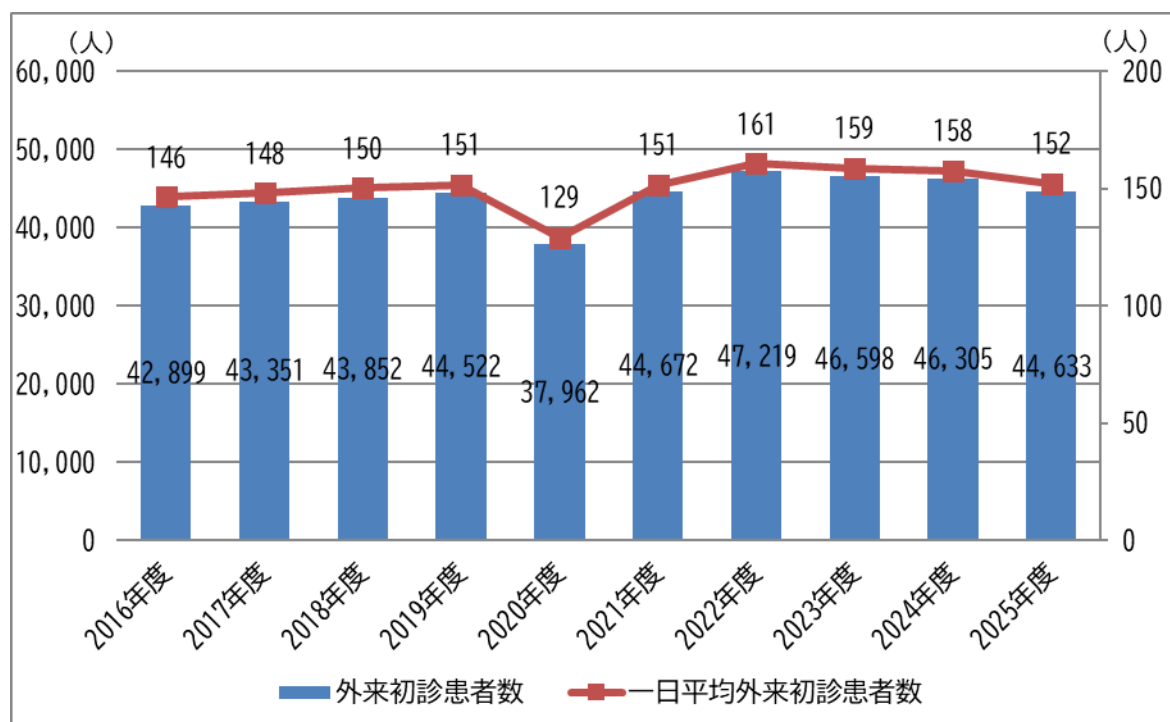


外来初診患者数



2025年度の外来初診患者数は、前年度より減少し、44,633人となった。

厚生労働省が推進する外来の機能分化（大病院は紹介患者を中心に、かかりつけ医は一般的な外来に対応する）が進んでいることが背景にある。近隣の医療機関との切れ目ない医療連携体制が維持されていることが要因として考えられる。

今後は、外来の機能分化をさらに進め、医療機能を強化していくこと、医療機関同士の連携だけでなく必要に応じて介護サービスとの連携や協働をさらに深化させ、地域における切れ目ない医療体制を維持していく。

データ提供 医療事務室外来医事課